

事務事業名	雲南市観光協会運営補助事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	商工観光グループ	課長名	中村清男
施策名	(35)観光の振興	担当者名	奥井雅司	電話番号 (内線)	0854-40-1054 3715
基本事業名	(105)受け地づくりの推進	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 315 015 115 713	雲南市観光協会補助金	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(18年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	合併前まで各町村で組織していた観光協会を統合し、平成18年7月に「雲南市観光協会(本会)」を設立。官民協力協働による観光振興事業を推進。各町村の観光協会は支部組織とし、既存事業を実施。本会は、観光受け地づくり、観光PR、地域資源のネットワーク化等の事業を実施。	旧町村ごとに設置された観光協会を一本化し、官民一体となった雲南市としての観光振興を図るべく、雲南市観光協会が平成18年に発足した。

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)	負担金補助及び交付金(補助金)	千円						
	委託料(観光推進員配置による観光誘客推進業務)	千円			3,500	4,000		
		千円	20	5,131	0	0		
		千円	14,946	11,887	11,864	11,415		
	事業費計(A)	千円	14,966	17,018	15,364	15,415	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	9	9	9			
	延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500			
③人件費	人件費計(B)	千円	5,721	5,832	5,913	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	20,687	22,850	21,277	15,415	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
手段	23年度実績(23年度に行った主な活動) 観光推進員の配置、観光ガイド事業の実施、観光タクシー事業化検討、ホームページ等を活用した観光情報の発信等  24年度計画(24年度に計画している主な活動) 観光推進員の配置、観光ガイド事業の実施、観光ガイドの新規養成、ホームページ等を活用した観光情報の発信等	⑤活動指標							
		ア 観光情報発信回数	回	395	126	367	400		
		イ 観光ガイド利用者数	人	211	1,015	2,243	2,500		
		ウ							
		エ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
目的	観光客  ③意図(対象がどのような状態になるのか) 雲南市に観光に訪れてもらう	⑥対象指標							
		ア 日本の人口(国勢調査)	万人	12,751	12,806	12,806	12,806		
		イ							
		ウ							
		エ							
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか) ア)雲南市を訪れてもらう。 イ)市内で消費してもらう。	⑦成果指標							
		ア 観光入込客数	千人	884	885	950	950		
		イ							
		ウ							
		エ							
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
		ア 観光入込客数	千人	884	885	950	950		
		イ 観光消費額	千円	3,846,508	3,771,072				

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
支部における会員数及び会費、予算規模、事業内容等に大きな隔りがある。将来的には会費の統一、観光協会が行うべき事業の取捨選択が必要になると想定されるが、地域の神社仏閣に関する宗教行事・伝統行事が中心であるため、調整は困難を伴う。	支部の事務局を各総合センターで所管しているが、総合センターの見直し方針が示される中、平成22年度より今後の観光協会のあるべき姿について検討を行っている。	これまで行ってきた観光協会等の観光振興策が十分な誘客に結びついていないためか、会員からは観光協会加入のメリットを疑問視する声がある。また、統合により組織が大きくなったことによる会員離れ、会費未納などが懸念される。

事務事業名	雲南市観光協会運営補助事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 交流人口の拡大を図る上で、観光協会による官民一体となった観光振興は必要不可欠。この事業の意図は結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 現在、本会の事務局を商工観光課、支部の事務局を各総合センターが担当していることから、官民一体と言いながら現時点では行政依存度が高いと言わざるを得ない。更なる雲南市への観光誘客のためには、民間からのより主体的な参画が必要と考える。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 対象及び意図については適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 観光協会各支部において取り組む観光事業は、地域の伝統行事が中心である一方、観光協会本部としては、「交流人口の拡大」という大きな目標がある。県内外からの観光客の動向及びニーズを把握しつつ、観光協会として取り組むべき事業を見直す必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 現状では観光振興を行う組織は観光協会以外にない。また、集客力のある観光イベントの実施主体でもあり、イベントの実施ができなくなれば、市内への観光入り込み客数の減に繋がる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はありますか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 官民一体となって観光振興を行う組織は観光協会以外にない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 既存地域イベント等の実行主体という役割を整理し、観光客誘致と観光消費による地域商業活性化に向けた、より効果の高い事業に特化することで事業費の削減は可能と考える。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 民間等に事務局を移管することにより、人件費削減が期待できる。また、支部において伝統行事等の事務局を兼任している場合があるが、これらを整理することで人件費の削減に繋がる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 各支部ごとに会費の金額が違うことから、受益者負担の面からは公平と言えない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	「賑わいあふれる雲南市づくり」や「交流人口の拡大」には、「観光の振興」施策が必要不可欠な施策のひとつである。これに官民協働で取り組む観光協会の存在は重要で期待度も高いが、観光協会として取り組むべき事業の精査や、より民間からの参画を促す必要があると考える。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後の交流人口拡大、賑わいの創出という目的達成のために、民間からの主体的な参加を得ることが必要であるため、専門的な知識や観光業者とのネットワーク、情報発信能力を兼ね備えた「観光プロデューサー」等の配置など、観光協会の体制強化が課題と考える。																							